

# 第 44 回北海道クラブラグビーフットボール選手権大会兼 第 28 回東日本クラブ選手権大会北海道予選 実 施 要 項

北海道ラグビーフットボール協会

- ◎ 主 催 北海道ラグビーフットボール協会
- ◎ 主 管 北海道ラグビーフットボール協会各支部
- ◎ 期 日 平成 30 年 5 月～10 月
- ◎ 会 場 札幌市定山溪バーバリアンズグラウンド、千歳青葉公園ラグビー場、  
道立野幌総合運動公園他
- ◎ 役 員 大会長 会長  
大会委員長 理事長  
大会副委員長 副理事長  
運営委員長 社会人・クラブ委員長  
運営副委員長 社会人・クラブ副委員長  
運営委員 社会人・クラブ委員  
総務委員長 庶務担当理事（書記長）  
競技委員長 競技委員長  
競技委員 競技委員、各支部役員  
審判長 レフリーソサエティー委員長  
副審判長 レフリーソサエティー副委員長ほか  
審判員 道協会所属レフリー、各チーム帯同レフリー  
大会事務局 山崎 高德

## 1 出場チーム（予定）

- (1) 北海道トップトーナメント（以下「トップT」という。）

（スーパーシード）北海道バーバリアンズ A

とかチェス、上磯ラガー、 COLLEGE HOUSE 、OKHOTSK BLUE R.F.C

- (2) 北海道チャレンジリーグ（以下「チャレンジL」という。）

エントリーチーム数が 6 チーム以上の場合、2 つのブロックに分け実施する。5 チーム以内の場合は、1 つのブロックで実施する。

※ブロック分けを行う際は、地域性等を考慮し北海道ラグビーフットボール協会社会人・クラブ委員会（以下「クラブ委員会」という。）で決定する。

## 2 競技方法

大会はトップT優勝チームを北海道クラブラグビーフットボール大会の優勝チームとする。（北海道バーバリアンズAを除く 4 チームでトーナメント戦を行い、当該 4 チーム中最上位のチームと北海道バーバリアンズAとで決勝を行う）。

優勝チームは、東日本クラブ選手権大会北海道ブロック代表として出場権を得る。また、準優勝チームは、全国クラブ大会予選となる東日本各ブロック（北海道、東北、北関東甲信越及び首都圏の 4 ブロック）2 位の 4 チームによって行われる予選会に出場する権利を獲得する。

チャレンジLを 2 ブロックで実施する場合、各ブロック 1 位のチーム同士がチャレンジリーグ優勝決定戦を行う。チャレンジLを 1 ブロックで実施する場合、同リーグ 1 位のチームがチャレ

ンジL優勝となる。

トップTの下位2チームとチャレンジLの上位2チームで入替戦を実施する（トップT4位のチームとチャレンジL2位のチームが、また、トップT5位のチームとチャレンジL1位のチームが試合を行う）。

なお、入替戦へのチャレンジは権利であり、義務ではない。

### 3 参加資格

- (1) 平成30年5月18日現在、北海道ラグビーフットボール協会に「チーム登録」されたクラブチーム。
- (2) 合同チームによる出場を認める。その場合、合同チームを構成する各クラブは平成30年5月18日現在、北海道ラグビーフットボール協会に「チーム登録」されたクラブチームであること。  
ただし、上位大会に出場する場合は、当該大会の大会参加資格に係る規定に従うこととする。
- (3) 一つのクラブから複数チームが出場することを認める。
- (4) 都道府県ラグビーフットボール協会以上の機関が公認する指導者（コーチ）を有すること。
- (5) クラブ帯同公認レフリーを有すること。有資格者がいないチームは、その候補者を登録すること。
- (6) 過去に未登録の選手を偽って出場させたチームないしは選手は本大会にエントリーもしくは出場することができないものとする。

### 4 選手資格

- (1) 本大会の選手資格は、財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の「日本協会規約」及びその他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の特則に服する。
- (2) 選手は満18歳以上の男性とし、高等学校在学中（定時制を含む。）の者は参加できない。
- (3) 出場予定試合前日までに本大会へ出場する所属チームから日本協会へ「競技者個人登録」を完了した者に限る。競技者個人登録を完了した選手であれば、人数制限なく本大会で選手登録をすることができる。
- (4) 一つのクラブから複数のチームで出場するクラブの選手登録はそれぞれのチームごとに分けて行う。この場合、当該チームは大会参加申込書提出時において、そのクラブに個人登録している者をいずれかのチームに振り分け登録しなければならない。  
ただし、大会申込書提出後に追加で当該クラブに個人登録した者は、試合が行われる前日までに随時大会の選手として登録することができる。  
※東日本クラブ選手権大会の選手登録規定（4月現在未決定）と一致していないので留意すること。
- (5) チャレンジLのローカル規定として、合同チームとして登録していない場合でも、本大会にエントリーしていない他のクラブから大会を通じて3名以内に限り、補助選手としてエントリーをすることができることとする。ただし、一度本大会にエントリーしているどこかのクラブの登録選手として出場した場合は、同一年度において他のクラブの選手として出場することはできない。
- (6) 前項以外の場合で、2018年度の全国大会につながる都道府県大会ないし地域大会で既に一つのチームから選手登録された者は、前項の登録期限に関わらず、移籍して他のチームから本大会へ選手登録することはできない。
- (7) 財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」又はこれに類する傷害保険に加入していること。

(8) 本大会の選手資格に疑義がある場合には、クラブ委員会において裁定する。

## 5 競技規則

(1) 平成 29 年度公益財団法人・日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則による。試合時間は 40 分ハーフとする。北海道選手権大会実施日以降に実施する試合から平成 30 年度の同競技規則を適用する。ただし、フロントローの登録人数に関しては、以下に記載の本大会ローカル規定を適用する。

### 【フロントローの登録人数について】

- ・選手登録が 15～20 名の場合：フロントロー最低 3 名を登録
- ・選手登録が 21 名の場合：フロントロー最低 4 名を登録
- ・選手登録が 22 名の場合：フロントロー最低 5 名を登録
- ・選手登録が 23 名の場合：フントロー最低 6 名を登録

※怪我等により、フロントローをできる選手がいなくなった場合はアンコンテストスクラムとして試合を継続するが、当該怪我で退出した選手の補充はできないものとする。点数・勝敗はそのままとする。

(2) トップTの成績は勝敗によって、チャレンジLの勝敗は勝ち数によって決定する。チャレンジLにおいて勝ち数及び引き分け数が同じ場合は、当該チーム同士の勝敗によって順位を決定する。勝ち数及び引き分け数が同じで、当該チーム同士が引き分けた場合はトライ数が多い方を上位とする。それでも差がない場合は、トライ後のゴール数の多い方を上位とする。さらに差がない場合は、次のア～エの各号の順序によって決する。

- ア 総試合の得失点差
- イ 総試合のトライ数
- ウ 総試合のトライ後のゴール数
- エ くじ引き

また、勝ち数及び引き分け数の同じチームが 3 チーム以上となった場合は、前記ア～エの各号の順序によって決する。

(3) (チャレンジLを 2 ブロック制で実施する場合) チャレンジリーグ優勝決定戦において規定の試合時間内で同点の場合は、両チーム優勝とするが、入替戦にあたっては、トライ数の多いチームを 1 位として取り扱い、トップT 5 位チームと対戦する権利を与える。トライ数が同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームが、トライ数及びトライ後のゴール数が同じ場合はくじ引きとして取り扱う。

(4) 入替戦において、規定の試合時間内で同点の場合は、トライ数の多いチームをトップT 残留もしくは昇格とする。トライ数が同じ場合はトライ後のゴール数の多いチームを同様に扱う。それでも差がない場合は、当該年度トップTチームの残留とする。

(5) 上記に定めのない事項については、クラブ委員会において決定する。

## 6 罰 則

(1) 参加資格を偽った場合、選手資格のない者が出場した場合には、その時点で失格とし本年度及び次年度の本大会への出場を認めない。

(2) 未登録の選手ないし他チームの登録選手を偽って出場させた場合（いわゆる替え玉出場等）は、以後全ての公式大会から排除する。

(3) その他スポーツマンシップに反する行為のあった場合にも第 1 項に準ずる。

(4) いずれの場合も、事実発生の時の相手方チームを勝者とし、得点は「100 対 0」として取り扱う。また、それ以降の試合も「100 対 0」として取り扱う。

ただし、それ以前のものには触れない。

## 7 帯同レフリー

各チームは、地域協会（C級）以上の資格を持つレフリー1名以上を登録し、各チームの試合時、もしくはダブルヘッダーの場合等、前後の試合のアシスタントレフリーとして指名し、その任に当たらせる。

所属チームに手配可能な適切なアシスタントレフリーがない場合は、各チームの責任において自チーム所属以外のレフリーを手配する。

## 8 参加料

20,000円（ただし、スーパーシードの北海道バーバリアンズAについては、10,000円とする。）

参加料は、大会参加申込後1カ月以内に別途通知する大会指定口座に振り込むこと。振込手数料は、各チームにてご負担願います。）

## 9 試合日程（案）

### (1) 北海道トップT

#### <1回戦>

- ① 5月27日（日）午後1時 K0 北見市南町「OKHOTSK BLUE R.F.C 対とかチェス」
- ② 6月3日（日）午後0時30分 K0 ニセコ「COLLEGE HOUSE 対上磯ラグー」

#### <準決勝>

6月17日（日）・札幌支部管内で実施

#### <4位5位決定戦>（敗者戦／開催日未定）

上記勝者同士の試合会場の例に準じてグラウンドを確保し9月末までに実施する。

<決勝戦> 平成30年7月29日（日）13時 K0 定山溪G（予定）

「北海道バーバリアンズA 対 準決勝の勝者」

### (2) 北海道チャレンジL

参加エントリーチーム数が確定していない。エントリーチームが5チーム以内の場合は1ブロック制で、6チーム以上の場合、Aブロック（道北・道東地区）及びBブロック（道央・道南地区）の2ブロック制で実施する。

#### ○ 日程

平成30年5月27日（日）～10月7日（日）

※各日とも、会場・時間は未定。対戦チームいずれかの所管支部内で開催する予定。

※ブロック分けは参加エントリー締切後に決定する。

（開催除外日）

◆北海道選手権大会開催日 平成30年6月30日（土）、7月1日（日）、7月8日

（日）

◆ジャパンラグビートップリーグ開催日 平成30年9月8日（土）

○チャレンジL決勝戦（2ブロック制で実施する場合／各ブロックの各1位が対戦）

平成30年10月7日（日）～詳細未定

○入替戦（トップT4位チームとチャレンジL準優勝チーム及びトップT5位チームとチャレンジL優勝チームが対戦） 平成30年10月14日（日）or21日（日）～詳細未定

## 10 雷雨等荒天時の取扱い

「荒天時や感染症発生等に関する試合の安全対策に係るガイドライン」（平成26年4月20日道

協会評議員会承認)に基づき、安全を第一に考え対処する。

なお、試合が中断し、そのまま再開ができなかった場合でも、前半を終えている場合は、そのまま試合成立とする(ハーフタイムは前半に含める)。

試合の中断等を決定するのは、社会人・クラブ委員長とするが、委員長不在の場合は、競技主管支部の運営責任者である社会人・クラブ委員の判断による。

## 11 顕彰

トップT及びチャレンジLとも優勝及び準優勝チームを表彰する。トップT優勝チームは北海道クラブ選手権大会優勝チームとして顕彰し、北海道ラグビーフットボール協会長杯を授与する。その他には楯等を授与する。

第27回東日本クラブ選手権大会への北海道ブロック代表としての出場権は、トップT優勝チームに与える。

## 12 競技委員の選出

各チームは試合当日の窓口となる<チーム競技委員>を選出すること。当日、グラウンド到着からグラウンドを後にするまで大会本部とチームとの窓口となること。

## 13 大会参加申込方法

参加チームは、所定の参加申込書を作成し、下記により電子メール等により提出すること。

### <提出先>

〒003-0028 札幌市白石区平和通 17 丁目南 3-30-813

山崎 高德(大会事務局)宛

Eメール：[rugby.sattetsu.yama@gj8.so-net.ne.jp](mailto:rugby.sattetsu.yama@gj8.so-net.ne.jp) 電話：090-9754-5912

### <提出物>

- (1) 第44回北海道クラブ選手権大会 エントリーシート

※提出期日：5月23日(木)

- (2) 第44回北海道クラブ選手権大会 参加申込書及び選手登録用紙

※提出期日：5月25日(金)

申し込み時点において、選手登録が完了している者のみ登録可能。ただし、追加登録をする場合は、試合の前日までに所定の提出先に様式を送付(送信)するとともに、その都度、試合会場において担当クラブ委員に提出すること。

- (3) スポーツ安全保険・加入依頼書の写し(コピー)又は、それに類する傷害保険の加入者証の写し。※加入依頼書等の書類を試合会場で担当クラブ委員に提示し、確認を受けること。

以上